



第87話 ～営農事業TAC活動より～ キャッチフレーズはとことん会ってコミュニケーション



主人公の一人瀬なおさんは、現在地元の高校に通う16歳。そろそろ就職か進学か決める時期。JAに勤めている姉の話聞きながら、将来の自分を見つめます。今回はTACについて紹介します。新規就農者や担い手の方たちの意見や要望を聞き、課題解決に向けた活動をしています。

ちなみに俺サラリーマンから農家に転職したクチだぜ
えっ!!
そなの?
えっ!!

俺の家は農家じゃないし土地もないし
まあ農業は機会があればやってみたいと思うけど…

中里さん宅で収穫の手伝いをしています
2人とも手際が良くなったなあ
このまま就農したら?
はあ!?!
簡単に言っなよ

TACのキャッチフレーズは
T(とことん)
A(あって)
C(コミュニケーション)
具体的などんな風に?
これかとても心強かったんだ

TACは地域農業の担い手から意見や要望を聞き取りJAグループとして何が出来るか支援してくれる活動のことだよ

会社やめて就農はさすがに迷ったけど地元JAが新規就農者や研修生の育成に重点を置いてるって知って相談しに行ったんだよ
そしたらTACがあるから頼ってくれませんかってね
TAC?

土地を持ってないなら栽培圃場探しから手伝ってくれると思うぞ

スムーズに就農できるよう品目選定から部会参加までサポートしてもらったよ
TACは個々の課題に丁寧に向き合ってくれるからもし本当に就農したくなったら相談してみるといいよ

オレの場合は
① 担い手を訪問して意見要望を伺い誠実に応えてくれる
② 経営に役立つ各種情報を届けてくれる
③ 意見を持ち帰りJAグループの業務改善につなげてくれる

ついでに婚活も手伝ってくれないかなTAC…!
はあ
がんばれ…